

7月 とれたて村給食だより

7月は長野県駒ヶ根市からとれたての
玉ねぎをお届けするっちい！



板橋区食育キャラクター
いたばちい

駒ヶ根市は長野県の南部に位置し、中央アルプスと南アルプスに挟まれています。この2つのアルプスによって風雨、風雪から守られ、豊富な大地の恵みを受けて様々な農業が盛んに行われています。



----- 玉ねぎ栽培の様子 -----

- ① 9月上旬～10月:苗つくり
玉ねぎの苗の栽培です。



- ② 10月上旬:植付け
耕した畑に『廃菌床たい肥』を散布し、植付け機で①の苗を定植します。



→**廃菌床たい肥**とは？
製品にならないブナシメジを集積・熟成させ、有機肥料として農作物の栽培で使用しています。



- ③ 収穫前(5月頃)の様子



害虫や鹿による被害、大雨によって植えた苗の3割以上がなくなってしまうこともあります。

また、寒い冬を乗り越え、春が来ると苗の成長が早まるとともに雑草も増えます。手作業で除草し、収穫まで大切に育てています。

生産者の方からのメッセージ

今年は例年になく栽培が難しい年でしたが、皆さんの笑顔を活かしながら栽培してきました。楽しく、おいしく召し上がってください。